

青梅市公共下水道における水の官民連携（ウォーターPPP）導入に向けた
アンケート調査票

【問１】本事業への参画意欲について

本市の事業（ウォーターPPP）への参画意欲について、最も当てはまるものを１つだけ選択してください。

- ☐ 積極的に参画を検討したい
- ☐ 条件（事業規模、業務範囲、リスク分担等）によっては参画を検討したい
- ☐ 情報収集段階であり、現時点では未定
- ☐ 参画を検討する予定はない

【意見記入欄】

※「参画を検討する予定がない」を選択された場合は、理由や課題をご記入ください。（例：人員不足、自社技術との不一致、リスク過大など）

※「参画を検討する予定がない」を選択された方は、本アンケートは以上です。以降の設問への回答は不要です。

【問２】希望する参画形態（契約上の立場）について

貴社が本事業に参画する場合に、希望する参画形態を選択してください。（複数回答可）

- ☐ 代表企業（主契約者）としてグループ（JV・SPC等）を組成して受託
- ☐ 構成企業（JVの出資・構成メンバー等）としてグループに参画
- ☐ 単独での受託
- ☐ CM業務（ピュア型CM）のみ単独受託
- ☐ 協力会社・下請企業等として（グループ外から）参画
- ☐ その他（ ）

※「単独での受託」、「CM業務（ピュア型CM）のみ単独受託」のみを選択された方は、問３の回答は不要です。【問４】へお進みください。

【問3】希望する担当分野（実務上の役割等）について

【問2】でグループ参画（代表・構成・協力）を選択された方にお尋ねします。貴社が主に
対応を希望する分野および入札参加資格（登録予定）カテゴリを選択してください。

(複数回答可)

- ☐ 統括管理・CM・アドバイザー（委託：企画立案支援等）
- ☐ 計画・設計・更新支援（設計・測量等：土木設計等）
- ☐ 管路の点検調査・診断（設計・測量等：各種調査等）
- ☐ 修繕・改築工事（建設工事：下水道施設工事、管工事等）
- ☐ 汚水中継ポンプ場、MH ポンプの運転維持管理（委託：設備保守等）
- ☐ 管路、施設の清掃・清掃廃棄物運搬（委託：清掃・収集運搬）
- ☐ 廃棄物処分（委託：産業廃棄物の処分）
- ☐ その他（ ）

【問4】希望する担当業務（実務上の詳細役割）について

貴社が技術的・体制的に「担当可能（JV・下請または単独として対応可能）な具体的な実務を選択してください。（複数回答可）

【統括管理・CM・アドバイザー分野】

- ☐ 事業全体の統括・調整業務（履行管理、計画・報告、リスク・安全管理等）
- ☐ セルフモニタリング、工事管理業務
- ☐ 苦情・通報および緊急・災害時等の発注者からの一次対応窓口
- ☐ 維持管理システムへのデータ入力・管理
- ☐ アセットマネジメントシステムへのデータ入力・管理
- ☐ 発注者に対するモニタリング、施工監督等の CM 業務
- ☐ 発注者に対する専門的な技術支援などアドバイザー業務全般

【計画・設計・更新支援分野】

- ☐ 修繕・改築計画、SM 計画、維持管理マニュアル等の策定
- ☐ 実施設計・積算・竣工図書作成（更新実施型：非開削工法等）
- ☐ 実施設計・積算、交付手続き支援等（更新支援型：開削工法、補助事業等）

【管路の点検調査・診断分野】

- ☐ 巡視、目視点検（法定・日常点検・目視調査、健全度評価等）
- ☐ スクリーニング調査、TV カメラ調査
- ☐ 管路診断、対策の検討
- ☐ 水位・流量センサー監視システム等のモニタリング

【修繕・改築工事（施工）分野】（※要建設業許可）

- ☐ 管路、MH ポンプ躯体の修繕工事・改築工事（非開削かつ補助事業以外）
- ☐ MH ポンプの設備取替、機器の本格修理（補助事業以外）

【污水中継ポンプ場、MH ポンプの運転維持管理分野】（※設備保守等）

- ☐ 污水中継ポンプ場の運転管理、巡視点検、保守点検
- ☐ 污水中継ポンプ場の機能診断
- ☐ MH ポンプの巡視点検、保守点検
- ☐ MH ポンプの機能診断(劣化・寿命予測)
- ☐ 日常点検に伴う軽微な修理・不具合調整、部品交換（許可不要の範囲）【清掃・廃棄物運搬・処理分野】（※清掃・産廃等）
- ☐ 管路施設の清掃、高圧洗浄、堆積土砂除去
- ☐ 污水中継ポンプ場、MH ポンプ、伏越施設の清掃（バキューム）、スカム除去
- ☐ 発生汚泥・ゴミ（スクリーンかす）の収集運搬（産業廃棄物）
- ☐ 発生汚泥・ゴミ（スクリーンかす）の処分（産業廃棄物）

【軽微な維持・修繕分野】（※建設業許可不要）

- ☐ 管路の軽微な維持・修繕（詰まり解消、管口補修、路面補修等の軽作業）
- ☐ MH ポンプの軽微な維持・修繕（詰まり解消、管口補修、路面補修等の軽作業）
- ☐ 污水中継ポンプ場の軽微な維持・修繕（建物・工作物等の修理）

【環境整備分野】（※資格不問）

- ☐ 管路用地・污水中継ポンプ場等の除草・伐採
- ☐ 污水中継ポンプ場の清掃等の環境整備
- ☐ 管理事務所の清掃等の環境整備

【その他共通業務】

- ☐ ユーティリティ（電気・水道・燃料等）の調達・契約管理
- ☐ 工事用資機材・機器類の調達管理
- ☐ 材料・部品の調達・管理
- ☐ 緊急対応、災害対応、大規模災害時の出動体制の確保
- ☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

--

【問5】基本方針について（実施要領3（1）参照）

基本方針について、最も当てはまるものを1つだけ選択してください。

ア 円滑な老朽化対策について（更新実施型を基本とすること）

- ☐ 提案の方針で参画可能（妥当である）
☐ 条件付きで参画可能（懸念事項あり）
☐ 参画困難（リスクが高すぎる）
☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

(例：・複数年契約により施工平準化や資機材の早期確保が可能となる。・TVカメラ等の劣化データが開示されない場合、リスク費用を上乗せせざるを得ない。)

--

イ 汚水中継ポンプ場の更新について

- ☐ 提案の方針で参画可能（運転管理のみで妥当）
- ☐ ポンプ場の更新（改築）までパッケージ化すべき
- ☐ 将来的に更新へ移行するステップアップ方式であれば参画可能
- ☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

(例：・突発的な故障リスクが大きいため運転管理に留める方針を支持。・運転管理と設備更新を一体化する方が、省エネ機器等への効率的な更新提案がしやすい。)

--

ウ 地元企業の受注機会の確保について（開削・MH 蓋調整等は市発注とすること）

- ☐ 提案の方針で賛成（開削工事等を市発注として切り離す方針は妥当）
- ☐ 代表企業が一括受注し、地元企業へ下請発注する形が望ましい
- ☐ その他対象業務において市内事業者との連携（JV 組成等）を視野に検討したい
- ☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

(例：・開削工事等を市発注（更新支援型）とすることで参画ハードルが下がる。・代表企業一括受託のほうが工程管理を一元化できる。・清掃・汚泥運搬において、地元企業のリソースやノウハウを活かした災害対応体制の提案が可能。)

--

エ 補助金の交付手続き等の対応について（交付事務は市が実施すること）

- ☐ 提案の方針で賛成（市の交付事務と民間の資料作成支援の分担は妥当）
☐ 補助金交付手続き支援等の業務負担が大きいため、業務範囲の精査を希望
☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

(例：・補助事業等における設計・積算業務を受託した場合の、工事への参画（中立性・参画制限）に関するルールを明示してほしい）

--

オ CM業務（モニタリング、施工監督支援）の外部委託併用について

- ☐ 参画に影響ない
- ☐ CM 受託企業が本体事業へ参画できないルールを明確にしてほしい
- ☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

(例：・中立性確保のため、CM 受託者およびそのグループ会社の本体事業参加不可ルールを明記してほしい。・ピュア型 CM 業務であれば、自社は CM 業務に絞って参画したい。)

--

【問6】事業スキームについて（実施要領3（2）参照）

事業スキーム（素案）について、当てはまるものを選択してください。

(複数回答可)

- ☐ 提案のスキームで参画意欲あり
☐ 契約期間の長さによって検討したい（ ☐ 5年程度 ☐ 10年程度 ☐ 15年程度）
☐ リスク分担（物価変動、突発災害、管路破損免責等）の基準次第で検討したい
☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

（例：・インフレや人件費高騰に対応する物価スライド条項の適用を明記してほしい。・賠償責任の上限（キャップ）」について検討してほしい。）

--

【問7】対象施設について（実施要領3（3）参照）

対象施設について、当てはまるものを選択してください。

- ☐ すべての施設を対象として対応可能
- ☐ 一部、対象から除外（または別枠化）してほしい施設がある
- ☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

(例：・点在する MH ポンプの緊急駆けつけ時間に関するパフォーマンス条件に猶予措置を求めたい。・山間部エリア等のアクセスリスクに応じた委託料設定を希望。)

--

【問 8】対象業務について（実施要領 3（4）参照）

対象業務について、当てはまるものを選択してください。

- ☐ 提案の業務範囲で対応可能
☐ 一部、民間が負うにはリスクが高すぎる業務がある
☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

(例：・工事の住民説明や許認可協議は市が最終責任を担ってほしい。・突発的な道路陥没等の損害賠償について民間責任上限(キャップ)や保険適用範囲を明記してほしい。)

--

【問9】 参画判断に必要な情報について

以下に当てはまるものを選択してください。（複数回答可）

- ☐ 過去5～10年分の修繕・改築実績および経費実績
- ☐ 管路のTVカメラ調査データ（GIS・Excel等の加工可能な形式）
- ☐ 汚水中継ポンプ場の設備台帳、過去の故障・トラブル履歴
- ☐ 現行の包括的民間委託の仕様書および支払実績
- ☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

（例：・布設年度、管種、管径ごとの延長データをExcel等で開示いただけると試算精度が上がる。）

【問10】 ウォーターPPP公募から受託までの準備期間について

以下に当てはまるものを選択してください。（複数回答可）

- ☐ 公募書類公表から提案書提出まで（ ☐ 3ヶ月 ☐ 6ヶ月 ☐ 9ヶ月以上）
- ☐ 優先交渉権者選定から事業開始（引き継ぎ期間）まで（ ☐ 3ヶ月 ☐ 6ヶ月以上）
- ☐ その他（ ）

【意見・要望等（自由記入）】

（例：・JV組成やメーカー調整に時間を要するため公募は最低4ヶ月、業務引継ぎ期間は3ヶ月以上確保してほしい。）

【問11】 その他の意見について

【意見・要望等（自由記入）】

【問12】 第2回サウンディング調査への協力について

主にアンケート回答内容の深堀り、技術的協議、事業スキーム、リスク分担等の対話（ヒアリング）を予定しております。ご協力の可否をご回答ください。

- ☐ 可
☐ 不可

【問13】 実績について

貴社（またはグループを想定する場合はその構成企業）における、下水道分野の PPP/PFI 事業、包括的民間委託、または類似インフラの受注実績について、該当するものをお選びください。（複数回答可）

- ☐ 下水道管路・施設の包括的民間委託（運転管理・維持管理等）の受託実績がある
☐ 下水道分野の PFI（BT0・コンセッション等）または PPP 事業への参画実績がある
☐ 本市域または近隣自治体における下水道工事・業務の豊富な契約実績がある
☐ 上記の直接的な実績はないが、他インフラ（水道、道路等）での PPP 等実績がある
☐ 実績はないが、新規参画に向けた体制を検討中である

【問14】 連絡先について

調査結果の整理や第2回サウンディング調査のご案内等に使用いたします。以下の連絡先情報をご記入ください。

項目	記入欄
貴社名（事業者名）	
ご所属（部署名）	
役職	
お名前（フリガナ）	
所在地（住所）・〒	
電話番号	
E-mail アドレス	

【確認・同意事項】

本調査への回答にあたり、以下の内容をご確認のうえチェックを入れてください。

〈参加資格の確認〉

☐ 実施要領「6（4）参加者の制限（地方自治法施行令第167条の4の規定、暴力団排除規定等）」に該当しない事業者であることを誓約します。

〈追加照会等へのご協力〉

☐ 本調査終了後、必要に応じた追加のヒアリングや文書照会への協力を同意します。

〈第2回ヒアリング調査（実施する場合）の参加予定形態〉

- ☐ 単独で参加予定
- ☐ グループ（JV・パートナー企業等）で参加予定
- ☐ 現時点では未定（まずは単独での参加予定）

アンケートは以上です。

ご協力ありがとうございました。